

なは女性センター講座2025

戦後80年企画 夏休み「親子で学ぶ沖縄戦」講座

日時：7月26日(土) 午前10時～12時



かりまた につき

講師：狩俣 日姫 さん

株式会社さびら

平和教育ファシリテーター

【プロフィール】

1997年、宜野湾市生まれ
高校卒業後留学を経て沖縄の文化や歴史を学ぶ重要性を感じ、
帰国後平和教育に携わる。
2022年に「株式会社さびら」を
共同創業。同年ForbesJapan2022
「世界を変える30歳未満」2022
年の30人に教育部門に、教育部
門で選出。

沖縄戦から平和を考える

沖縄戦は、1945年3月26日に米軍の慶良間諸島への上陸から始まり約3～5ヵ月にわたって一般住民を巻き込んだ地上戦が繰り広げられ、沖縄県民の4人に1人が犠牲になりました。
私たちは「平和は大事」だということは知っているつもりです。
それでは、平和がどう大事なのか？
なぜ大事にしないといけないのか？
私たちは今、平和を大事にできているのか？
という問いに、沖縄戦を学ぶことからひも解いていきます。

場所：なは女性センター学習室（なは市民協働プラザ1階）

参加費：無料

定員：事前申込／先着

対象：小学3年生～中高校生および保護者 各15組

手話通訳：7月18日(金)までにお申し込みください。

※託児サービスは行っておりません。

★手話通訳は那覇市在住・在勤の方が利用できます。

申し込み
QRコード



講座予告



講師：和田なほさん
沖縄性教育コミュニティ
KPTAS代表
思春期保健相談士
性教育認定講師

ひとりひとりが“自分らしさ”を知り、認め合い、人生を楽しむための選択肢を学べるよう「自分で選ぶ・自分らしい人生を生きる」ための性と人権の教育「包括的性教育」を提唱している。

夏休み企画！ こども向け講座

「こころ と からだ と せい の はなし」

自分や相手を大切にするとってどんなことだろう？

“うれしいこと”や“いやなこと”など、こどもが成長するにしたがって、様々な感情や疑問がわいてきます。それは生きていく上でとても大切なこと。自分の「こころ」に気づいたり、自分の「からだ」の成長を感じたり、「せい」を学んで、自分らしさを知る。自分や相手を大切にするために「あ、そうなんだ！」と気づける講座です。

- ①自分らしさってなんだろう（性の多様性の尊重） ②からだの権利を知ろう
③安心できるいい関係のつくりかた ④困ったときはどうする？ ⑤大人に変化していく心と体

日時：8月9日（土）10時～12時（無料）

■ 会場：なは女性センター学習室

■ 対象者：小学3年生～6年生※2名様まで 及び 保護者※1名様まで
※お子様のみ、保護者のみでのご参加はお控えください。

■ 定員：20組（事前申込／先着順）

■ 市在住・在勤・在学の方は手話通訳が利用可能。託児はございません。 申込フォーム

■ 申込期間：7/1（火）～8/8（金）（手話通訳：8/1（金）迄にお申し込みください）



令和7年度 男女共同参画週間



▲令和7年(2025)年度ポスター

①「男女共同参画週間」

男女共同参画社会基本法の交付・施行日の1999(平成11)年6月23日をふまえて設定されました。

②男女共同参画社会とは

女性と男性が、社会の対等な構成員として、自分の意思で社会のあらゆる分野の活動に参加する機会が保障され、それによって利益を受け、ともに責任も担う社会のことです。

誰でも、どこでも、自分らしく

なは女性センターでは、この期間に合わせ「男女共同参画社会」について分かりやすくまとめたパネル展示と、「戦後50年おきなわ女性のあゆみ～21世紀へのメッセージ～」のDVD上映を行います。

Gender
Equality
Week

期間：6月16日(月)～6月30日(月)

*6月23日(月)は休館日

場所：なは女性センター入口（パネル展示）
なは女性センター交流室（DVD上映）



6月は「プライド月間」と呼ばれ、世界各地でLGBTQ+の権利を啓発する活動・イベントが実施されます。なは女性センターでもパネル展示会を開催中です！
どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。

プライド月間パネル展

期間：6月16日(月)～6月30日(月)

★6月23日(月)は休館日

場所：なは女性センター

講座を終えて

ADHD（注意欠如・多動性障害）の子どもの支援について

～ペアレント・トレーニングについて知ろう～

開催日：2025年5月31日（土）午後2時～4時 参加者：47人

▶ 島袋静香講師



ADHDは先天的なもので、しつけや育て方の問題ではありません。しかし、落ち着きのない子、粗暴な子というネガティブな印象を持たれがちで、適切な対応を受けられない子ども達が多くいます。

今回はADHD症状の軽減に効果的なペアレント・トレーニングの開発に取り組んでいる沖縄科学技術大学院大学(OIST)の島袋静香博士を講師にお招きして、ADHDについての正しい知識や子どもをサポートしていくスキルを学ぶ講座を開催しました。

当たり前に出ることが時間を要する特性

ADHDは不注意（注意がない）、多動性（じっとしてられない）、衝動性（考えずに行動してしまう）の3つの特性が見られる発達障害を指します。今回のADHDにまつわる特性を持つ子どもと向き合う保護者を対象とした講座には、自身のお子さんの接し方に悩む親御さんや教育関係者及び支援者の方も参加しました。講師の島袋さんは「親は子どもの苦手な面を理解して環境を整え、子どもの成功体験を増やすことが次につながる」と説明します。

報酬機能（動機付け）を助けることが効果的

さらに一般の子どもには当たり前に出ることがADHDの子には時間と努力が必要と指摘し、目標を達成するために必要な行動や思考を制御する「実行機能」と満足感や達成感をつかさどる「報酬機能（動機付け）」を助けることが効果的だと話しました。

子どもができる目標から用意し褒めるチャンスをも！

実行機能の支援の具体例として日課を壁に貼ったり、余計なものは片づけておいたり、時間を知らせる声かけなど子どもが行動しやすい環境づくりを挙げました。指示を出す前に指示が来ることを伝えたり、一度に出す指示は一つにするなどの工夫を呼びかけました。

また動機付けの部分では「子どもは大人に『できる』と言いたい。」と話し、「大人は子どもにできる目標から用意し、褒めるチャンスをたくさんつくろう」とアドバイスしました。子どもを褒めることで行動と楽しい結果が結び付き、またその行動をしたいと気持ちが動き、行動の定着につながると説き、できない結果を叱っても「望ましい行動が増えるわけではない」と締めくくりました。

□ 「子どもが出来ない」のではなく環境が整ってないという言葉に「はっ」とさせられました。（30代）

アンケートから

□ もっと難しい内容と思いましたが、資料も説明もとてもわかりやすく受講できて本当に良かったです。（40代）

□ ADHDの特性や親の関わり方が具体的にわかり子どもを褒めることの大切さを改めて感じました。（50代）

本講座では、多くのお申し込みをいただきましたが、会場の広さ等を考慮し、誠に恐縮ながら、定員以上のお申し込みについては、お断りさせていただきました。申し訳ありませんでした。ご理解とご協力ありがとうございました。



戦後80年

ひめゆり学術隊とひめゆりの塔

「ひめゆりの塔」は沖縄戦に動員されて亡くなった沖縄師範学校女子部と県立第一高等女学校の生徒や教師を慰霊する塔。1964年4月、多くの学徒が命を落とした井原第三外科壕のそばに建立されました。「ひめゆり平和記念資料館」は1989年に開館して、生き残った学徒らが長年「証言者」として沖縄戦の体験を伝えて来ました。

▼『感想文集ひめゆり』より一部抜粋して掲載します。

「時代の犠牲者」という言葉に違和感 無記名

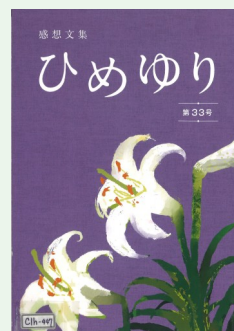
第6展示の前にあるメッセージ映像の中に、平良さんについて「時代の犠牲者」であり個人を責めることはできないという文字がありました（中略）今でもなぜあの戦争が始まったのか、そして今私達は今の戦争に対して何ができるのかを考えることを忘却させるような言葉だと思います。



Book

今月の本

をご紹介します♪



【感想文集 ひめゆり】

発行：公益財団法人

沖縄県女師・一高女ひめゆり平和祈念財団立
ひめゆり平和祈念資料館

※ライブラリーで閲覧・貸出をしています。

相談室「ダイヤルうない」

周囲に話せる人がいない、自分の気持ちをわかってもらえない。そんな時、「ダイヤルうない」を利用してませんか。生きがい、家庭の問題など、女性の抱える様々な相談に応じ、自分の意思で人生を選択するために情報提供し、サポートします。

- 電話相談 ● 面接相談(女性のみ・要予約)
- 法律相談(女性のみ・予約制)

 **098-861-7515**

相談時間 ▶ 月～土 午前9時～12時／午後1時～5時

「ストップ・DV」情報提供

相談室「ダイヤルうない」では、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩む方を支援するための情報提供を行っています。詳しくは相談室「ダイヤルうない」へお問い合わせください。

性の多様性に関する相談

あなたが「自分らしい生き方」を自らの意思で選択できるように、一緒に考えます。どなたでもご相談ください。

面接相談
申込QR



**相談室「ダイヤルうない」の
面接相談の申込みがオンライン
でも、できます！**

面接相談のオンラインお申込みは、仮受付です。正式な面談日は相談員から、お電話させていただきます。

那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録

「那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録」は、市長がパートナーシップ・ファミリーシップの関係にあると認めた場合、その関係について登録簿へ登録し、「登録証明書」及び「登録証明カード」を交付するものです。

- 「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(レインボーなは宣言)の理念に基づく取り組みです。登録によって何らかの法律上の効果(相続、税金の控除など)が生じるものではありません。

登録数 78 組

うちファミリーシップ **3 組**

2025年6月15日現在
これまでに登録された方へも「登録証明カード」の交付ができます。

- お問い合わせ・申請の予約

TEL. **098-951-3203** ◆ 月～金:午前9時～午後5時
* 祝日、慰霊の日(6/23)、年末年始(12/29～1/3)除く

レインボー交流会の開催について

「交流の場がほしい」「性の多様性について語りたい」といった声から生まれた誰でも参加できる交流会です。

日時：2025年7月5日(土) 午前10時～12時

会場：なは女性センター学習室(なは市民協働プラザ1階)

主催：市民団体ていーだあみ

メール：tiidaami.okinawa@gmail.com

「フェイスブック」でもお知らせしています♪



駐車場のご利用について

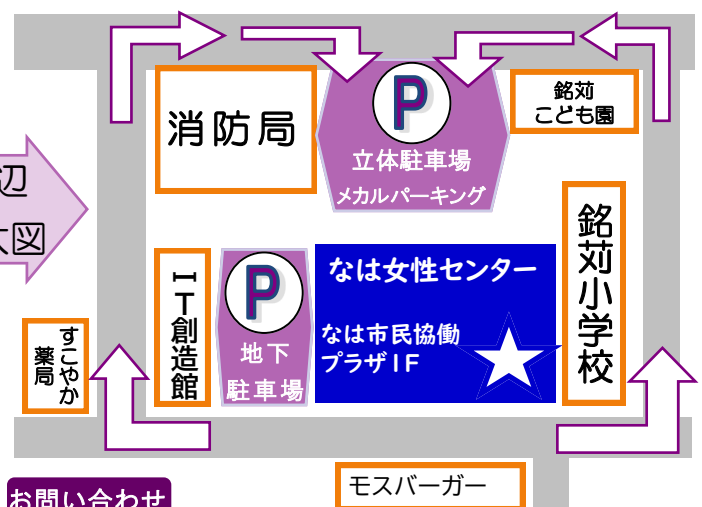
「なは市民協働プラザ」の地下駐車場と消防局隣の「ナハメカルパーキング」をご利用ください。

ご利用は**有料**です。センター利用者は、料金の一部が免除されますので「駐車券」を事務室にお持ちください。

周辺地図



周辺
拡大図



お問い合わせ

那覇市銘苅2-3-1(なは市民協働プラザ1F Aコア)

TEL. 098-951-3203 FAX. 098-951-3204

Email:s-heidan002@city.naha.lg.jp

なは女性センターホームページ QR⇒



☆なは女性センター利用者の駐車場利用 一部免除料金

最初の2時間まで	100円
最初の2時間を超過1時間ごとに	100円

開館時間

月～金:午前9時～午後9時

土曜日:午前9時～午後5時

休館日

年末年始(12/29～1/3)

日曜日・祝日・慰霊の日(6/23)